

# 「安全・安心な教育環境の確保」の取組事例（2学期）

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、学校・家庭・地域との協働による防災訓練の推進、防災教育コーディネーターを中心とした家庭・地域との協働による取組の推進等、学校の組織的な取組が進められています。そこで、「2学期取組状況調査」から「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。

自校の安全・安心な教育環境の確保に向けた参考資料としてご活用ください。



## ◎日田市立津江中学校 「CS及び外部機関と連携・協力した『防災講座』の実施」

○令和2年7月の豪雨災害の経験から『想定外を想定する』ことの必要性を痛感し、計画（年4回）

○中津江公民館、中津江むらづくり役場および自治会、振興局に支援・協力を依頼

### 【第3回防災講座「被災者搬送と応急手当について」 令和3年11月5日(金)実施】

			
三角巾の作成	三角巾による止血処置	簡易担架の作成	担架を使った搬送
実際に三角巾を作り、頭部に傷(出血)を負った人に止血処置をする想定で活動を行った。		竹の棒と毛布を使って簡易担架を作り、実際に人を乗せて運ぶ訓練を実施。簡易担架は予想以上に丈夫。	

### 【第4回防災講座「模擬避難所設営および運営」 令和3年12月6日(木)実施】

			
被災者への聴き取り	簡易ベッドの体験	グループ発表	
昨年度7月の豪雨災害時、実際に津江小中学校体育館を避難場所にした地元の方を招き、生徒は6つのグループに分かれて、被災者から当時の様子や生活上困ったことなど、たくさんの聴き取りを行った。聴き取ったことを基に「災害時に自分たちは何が出来るか」を考え、整理。	防災講座にあたって、中津江振興局の方が体育館に実際の避難所の開設を行い、簡易ベッドに実際に寝てみるなど寝心地などを確認した。	グループごとに「災害時に自分たちは何が出来るか」を考え、整理し、意見交流を行った。	

## ◎日田市立大明中学校

### 「地域と連携した『防災キャンプ』の取組」

○9年生(中3)希望者を対象に実施

○地域での水害を想定

○地区の防災士、公民館に支援・協力を依頼

	
公民館への避難訓練	伝言ダイヤル体験
	
非常食体験	防災カードゲーム

## ◎日田市立五馬中学校

### 『防災フィールドワーク・生徒地域防災会議』



○県教育庁学校安全・安心支援課より講師を招き、フィールドワークを実施。調べた結果を会議で地域、保護者と共有

## ◎地域機関(消防団、警察署)と連携した防災訓練



桂林小学校

津江小学校

大山中学校

